

草津市 地域公共交通網形成計画

2018-2027



2018年10月
草津市
(草津市地域公共交通活性化再生協議会)

はじめに

草津市は、古くから東海道と中山道が合流・分岐する唯一の宿場町として栄え、現在も交通の要衝として発展し、全国的に人口減少局面を迎える中で人口増加が続いており、立命館大学びわこ・くさつキャンパスや大手企業の工場が立地するなど、通学や雇用の場としての機能を備えた、滋賀県の中核的な都市となっています。

一方で、自家用車への過度な依存による公共交通の脆弱化や慢性的な交通渋滞の発生、人口増加を背景とした郊外開発等による都市機能の分散化や中心部の衰退等の問題が顕在化しており、今後の人口減少社会や少子高齢化社会に対応した交通環境の整備が急務となっています。

こうした中で、将来的な人口減少を見据えた持続可能なまちづくりの実現を目指すため、自家用車利用を前提とした拡散型の都市構造から、公共交通等の移動手段を使って歩いて暮らせるコンパクトな都市構造への転換を図るため、このたび、「草津市地域公共交通網形成計画」を策定したところです。

この計画では、「誰もがいつでも安心して移動できる 持続可能で健幸な交通まちづくりの実現」を基本理念とし、「市民（地域）・交通事業者・行政が連携、協働してつくる公共交通ネットワーク」を基本方針に掲げ、効率的かつ効果的な利便性の高い持続可能で健幸な公共交通ネットワークの形成を目指します。

そして、本計画に加え、「草津市立地適正化計画」、「草津市版地域再生計画」を合わせた3つの計画がともに連携し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重な御意見や御提案をいただきました市民の皆様、本計画の策定主体として御審議いただきました草津市地域公共交通活性化再生協議会委員の皆様へ感謝申し上げますとともに、今後の持続可能で健幸な交通まちづくりの実現に向けて、地域の皆様のさらなる御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

平成30年10月

草津市長 橋川 渉



目次

第1章 基本的事項.....	1
1. 背景と目的	1
2. 計画の区域	1
3. 計画の期間	1
4. 計画の位置づけ	2
5. 計画策定の基本的な考え方.....	2
第2章 地域と交通の現状と課題.....	4
1. 地域と交通の現状.....	4
1.1 地域の現状	4
1.2 移動の状況	19
1.3 公共交通等の現状.....	24
1.4 市民の意識と行動.....	40
1.5 交通事業者等の意見	52
1.6 上位・関連計画や取組みの現状.....	54
2. 公共交通網を形成する上での課題.....	64
2.1 市内の移動環境の現状や課題.....	64
2.2 地域公共交通網形成に向けた現状や課題および具体的施策の方向性	66
第3章 計画の基本的な考え方	67
1. 基本理念.....	67
2. 基本方針.....	67
3. 目指す公共交通ネットワーク	68
3.1 目指す公共交通ネットワーク	68
3.2 地域ごとの今後目指す交通体系等のあり方.....	69
第4章 コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり実現に向けた施策	70
1. 施策体系.....	70
2. 個別施策.....	72
第5章 計画の推進.....	92
1. 計画の推進体制	92
2. 目標値の設定.....	93
3. 計画の評価	93
用語解説.....	94